



CIESF NEWS LETTER

2013 May 第15号

公益財団法人CIESFは、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。

【教育に関する格言⑮】

多くの犠牲と苦勞を経験しなければ、成功とは何かを決して知ることはできない。
——マハトマ・ガンジー

こんにちは。CIESFをご支援くださる皆さま、いつもありがとうございます。そして、この二ノスレーターを手にしてください。4月からCIESFは新しい期に入りまして、皆さま2012年度は大変お世話になりました。本年度もよろしく願っています。

CIESF活動報告書2012を作成しました

公益財団法人CIESF2012年度活動報告書を作成いたしました。2011年度に引き続き、2012年度も多くの方々にご支援いただき、活動を行うことができました。誠にありがとうございました。サポーターになつてくださった企業様、個人の方々、そして応援してくださった皆さまへ感謝の意を込めて報告書を順次お送りさせていただきます。昨年度に引き続き



2012年度 公益財団法人CIESF (シーエフ) 活動報告書

きこの報告書は、法人サポーターの株式会社オビカ 旧オカト印刷様のご支援で印刷しております。岡本社長はじめスタッフの皆さまに感謝申し上げます。

CIESF募金箱の設置にご協力ください
日本全国の多くの企業様に、社内や店舗等にCIESF募金箱を設置する活動にご協力いただいております。



株式会社NSEI/アルエステート様 社内へ

↑司法書士法人グッドブレイン 総合法律事務所様 寄付

どこかCIESF募金箱を見かけた方は、ぜひお気持ちをチャリンとご寄付いただけたら嬉しいですね。募金箱は常設以外にも、イベント時の貸出も行っています。詳細はCIESF事務局までお問い合わせください。

「国境なき教師団」

急募! これまでに延べ14名、現在6名の日本人の先生が「国境なき教師団」の教育アドバイザーとしてプノンペンとトレイベン教員養成校で活躍されています。理数科の基礎力が弱いとされているカンボジアでは、理数科限定で支援を行っています。先生たちの活動は、着実に実を結びはじめています。現在算数小

学校と物理(中学 高校)の教師経験者の方を特に急募しています。



現地での活動に関しては、通訳がつかえます。年齢制限はありません。

待遇面では、生活費・住居・渡航費・保険等をCIESFが負担します。教師経験者の方、ぜひお力をお貸しください!

「国境なき教師団」とは、国境を越えて教育支援を行うCIESFのベテラン教師たちの組織です。「国境なき教師団」に所属する教育アドバイザーは毎年大勢の教師の卵を育てているカンボジアの教員養成校の教官たちと一緒に教師レベル向上のための活動を行っています。

新しいご支援

ウェブ制作等を行っているビートフリース株式会社様は、特設サイトのFacebookの「いいね!」1個につき、10円をカンボジアの教育支援の寄付としてくださっています。ウチを扱う企業様らしい、SNSを活用した、新しい支援企画となっております。ありがとうございます。



Web制作会社 × 社会貢献!?



<https://www.beat-freaks.com/service/smile/facebook/>



「つけ麺みざわ」店内に企画のポスターも掲示いたしています

つけ麺店を運営しているスマイルキープ株式会社様は、つけ麺の券売機に20円の寄付チケットを設置し、つけ麺を通じてカンボジアに笑顔をお届けしよう!を合言葉に、カンボジアの教育支援の寄付としてくださっています。ありがとうございます。

プノンペン小学校教員養成校の現場から(理科)

2013年5月現在、プノンペン小学校教員養成校にて、2名の教育アドバイザーが活動して、います。2010年9月から、理科の指導を行っているのが、元元江先生。以前から途上国の教育支援に取り組みたいというお考えがあり、CIESFの教育アドバイザーに応募され、カンボジアにやってきました。元江先生は、お考えが、CIESFの教育アドバイザーにやってきました。元江先生のカウンターパート、教員養成校の教官は1人ではありませぬ。複数の教官の授業を一緒に、理数科の実験道具の作り方や使い方を指導しています。カウンターのひとり、スロンナネット先生(女性)は、元江先生と一緒に授業を行うようになってから、実験の仕方が理解できるようになったと喜んでいました。ただ、教員養成校で行う実験も、学生の赴任先では難しい問題です。カンボジアの田舎では、教材はほぼないと考えていましょう。逆にプノンペンでは可能となっています(ナネット先生)



プノンペンの教員養成校には、プノンペン以外に教員養成校のない州の学生も寄宿舎生活で通っています。地方とプノンペンでは、小学校の設備にも格差があるようです。高等教育機関である教員養成校の理科室ですら、水道設備がありません(元江先生)

実験を教える環境設備という点においては、カンボジアの教員養成校にとっても課題のひとつとなっています。

Facebook

ウェブサイト上のニュースや、CIESFからのお知らせ、裏話などをお届けしています。もって皆さんと交流したいと思っています。いただいたコメントに対するお返事100%を目指しています。
<http://www.facebook.com/ciesf>
「いいね!」をお願いします。

カンボジアオフィススタッフが発信する「現地レポート」、教育アドバイザーの先生たちの日々の活動を綴った「教育アドバイザーの活動日誌」は、CIESFのウェブサイトで絶賛公開中です!

プノンペン小学校教員養成校で活動している教育アドバイザー 寛八郎先生の活動日誌を4月30日に掲載しています。

ぜひ読んでみてください! <http://www.ciesf.org>

法人サポーター・個人サポーター募集中

発行:公益財団法人CIESF 日本事務局
〒107-0062
東京都港区南青山3-17-1 フロムファイブ302
Tel:03-6439-5990 Mail:info@ciesf.org

編集後記 今年は例年より早く桜が咲きましたが、花見ピークの頃は寒かったですね。花見計画はすべて雨で散ったので、5月に入ってから新緑の下でピクニックをしました。この季節のピクニックは気持ちいいですね。飲み食いして転がっているだけではもったいないので、先日は仲間と「スクラブル」という英単語をひたすら作り続けるボードゲームを持って公園に出かけました。難解な英単語にウーウーうなりながらレジャーシートに這いつくばった私たちは、新緑どころか日が暮れるまで没頭し、寒くなって冷え切り、尻尾を巻いて帰ったのでした。油断をすると朝晩冷える日もまだまだあるので、皆様ご自愛ください。(YM)